



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社トクヤマ 上場取引所 東  
 コード番号 4043 URL <https://www.tokuyama.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 横田 浩  
 問合せ先責任者(役職名) 広報・IRグループリーダー(氏名) 小林 太郎 (TEL) 03-5207-2552  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	220,923	△6.6	21,700	△12.3	21,181	△10.9	19,318	7.3
2020年3月期第3四半期	236,543	△0.7	24,754	△2.8	23,780	0.4	18,011	△8.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 21,991百万円(19.3%) 2020年3月期第3四半期 18,426百万円(10.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	278.14	—
2020年3月期第3四半期	259.32	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	374,021	196,860	49.6	2,672.62
2020年3月期	383,447	180,429	44.0	2,431.21

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 185,630百万円 2020年3月期 168,861百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2021年3月期	—	35.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	△5.1	30,000	△12.5	30,000	△8.6	26,000	30.4	374.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※2021年1月29日に「2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 一社（社名） 天津徳山塑料有限公司  
、除外 2社（社名） 株式会社トクヤマロジスティクス

（注）詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	69,934,375 株	2020年3月期	69,934,375 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	477,918 株	2020年3月期	478,862 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	69,456,421 株	2020年3月期3Q	69,455,177 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
<b>2021年3月期 第3四半期連結累計期間</b>	<b>220,923</b>	<b>21,700</b>	<b>21,181</b>	<b>19,318</b>
2020年3月期 第3四半期連結累計期間	236,543	24,754	23,780	18,011
増減率	△6.6%	△12.3%	△10.9%	7.3%

**(売上高)**

半導体関連製品は販売が堅調に推移しましたが、サン・トックス株式会社を当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外したこと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から苛性ソーダの国内の販売数量が減少したこと、及び石油化学製品の販売価格が軟調に推移したこと等により、前年同期より156億20百万円減少し、2,209億23百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

**(売上原価)**

原燃料コストの減少等により、前年同期より121億92百万円減少し、1,515億63百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

**(販売費及び一般管理費)**

研究開発費等の増加はありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から旅費・交通費などの経費が減少したこと、及び販売数量が低調に推移したことによる物流費の減少等により、前年同期より3億73百万円減少し、476億59百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

**(営業利益)**

原燃料コストの減少はあったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から苛性ソーダなどの販売数量が減少したこと等により、前年同期より30億54百万円減少し、217億円（前年同期比12.3%減）となりました。

**(営業外損益・経常利益)**

営業外損益は、前年同期より4億55百万円改善しました。

以上の結果、経常利益は25億98百万円減少し、211億81百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

**(特別損益・税金等調整前四半期純利益・四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期純利益)**

特別損益は、前年同期より8億83百万円改善しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期より17億15百万円減少し、216億75百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

応分の税金費用を加味した四半期純利益は、前年同期より10億41百万円増加し、197億23百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より13億7百万円増加し、193億18百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
<b>2021年3月期 第3四半期 連結累計期間</b>	<b>61,033</b>	<b>41,051</b>	<b>68,307</b>	<b>34,093</b>	<b>40,539</b>	<b>245,025</b>	<b>△24,102</b>	<b>220,923</b>
2020年3月期 第3四半期 連結累計期間	71,165	38,452	66,418	42,341	49,167	267,545	△31,001	236,543
増減率	△14.2%	6.8%	2.8%	△19.5%	△17.5%	△8.4%	—	△6.6%

営業利益

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
<b>2021年3月期 第3四半期 連結累計期間</b>	<b>9,387</b>	<b>4,550</b>	<b>3,880</b>	<b>1,550</b>	<b>4,590</b>	<b>23,958</b>	<b>△2,258</b>	<b>21,700</b>
2020年3月期 第3四半期 連結累計期間	11,785	4,474	2,629	2,324	4,867	26,081	△1,326	24,754
増減率	△20.3%	1.7%	47.6%	△33.3%	△5.7%	△8.1%	—	△12.3%

(注) 各セグメントの売上高、営業利益にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

苛性ソーダは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から国内の販売数量が減少したこと、及び海外市況が下落したことにより、減益となりました。

塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、輸出価格が上昇したことにより、増益となりました。

ソーダ灰は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から国内の販売数量が減少し、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は610億33百万円（前年同期比14.2%減）、営業利益は93億87百万円（前年同期比20.3%減）で減収減益となりました。

(特殊品セグメント)

半導体向けの多結晶シリコンは、5Gの導入やリモートワークの増加を背景に販売が堅調に推移し、増益となりました。

電子工業用高純度薬品は、海外向けを中心として販売数量が増加し、増益となりました。

乾式シリカは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から販売数量が減少し、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は410億51百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は45億50百万円（前年同期比1.7%増）で増収増益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、新型コロナウイルス感染症拡大の国内出荷への影響が限定的だったこと、及び原料価格の下落で製造コストが低減したことにより、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は683億7百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は38億80百万円（前年同期比47.6%増）で増収増益となりました。

(ライフアメニティーセグメント)

プラスチックレンズ関連材料は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からメガネレンズ用フォトクロミック材料の欧米向け輸出数量が減少し、減益となりました。

歯科器材は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から欧米向け輸出数量が減少したものの、広告宣伝費等の低減により、増益となりました。

医療診断システムは、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの販売が減少し、減益となりました。

ポリオレフィンフィルムの製造・販売を行うサン・トックス株式会社の株式の一部を譲渡したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲から除外しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は340億93百万円（前年同期比19.5%減）、営業利益は15億50百万円（前年同期比33.3%減）で減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,740億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ94億26百万円減少しました。主な要因は、保有株式の時価評価等により投資有価証券が68億45百万円、その他流動資産が34億57百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が59億27百万円、有形固定資産が52億37百万円、現金及び預金が46億73百万円、原材料及び貯蔵品が21億72百万円、商品及び製品が19億43百万円減少したことによるものです。なお、サン・トックス株式会社の連結除外の影響により、資産は130億51百万円減少しております。

負債は1,771億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ258億56百万円減少しました。主な要因は、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が157億54百万円、支払手形及び買掛金が46億54百万円、賞与引当金が20億38百万円、未払法人税等が15億91百万円、その他流動負債が15億12百万円減少したことによるものです。なお、サン・トックス株式会社の連結除外の影響により、負債は88億44百万円減少しております。

純資産は1,968億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ164億30百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げ等により利益剰余金が144億50百万円、その他有価証券評価差額金が19億23百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2020年10月28日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、2021年1月29日付「2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	81,524	76,850
受取手形及び売掛金	72,929	67,001
リース債権	34	87
商品及び製品	18,506	16,562
仕掛品	10,051	10,754
原材料及び貯蔵品	16,088	13,916
その他	4,823	8,280
貸倒引当金	△108	△105
流動資産合計	203,849	193,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	108,636	104,035
減価償却累計額	△78,109	△75,815
建物及び構築物(純額)	30,526	28,219
機械装置及び運搬具	465,761	455,681
減価償却累計額	△420,631	△412,159
機械装置及び運搬具(純額)	45,129	43,522
工具、器具及び備品	22,488	22,405
減価償却累計額	△20,024	△19,939
工具、器具及び備品(純額)	2,463	2,465
土地	33,363	31,688
リース資産	5,011	5,943
減価償却累計額	△2,370	△2,411
リース資産(純額)	2,641	3,531
建設仮勘定	9,067	8,527
有形固定資産合計	123,192	117,955
無形固定資産		
のれん	3	91
リース資産	59	44
その他	1,594	1,600
無形固定資産合計	1,657	1,735
投資その他の資産		
投資有価証券	19,385	26,230
長期貸付金	2,302	2,182
繰延税金資産	19,164	18,010
退職給付に係る資産	9,569	9,754
その他	4,382	4,864
貸倒引当金	△56	△60
投資その他の資産合計	54,747	60,981
固定資産合計	179,597	180,673
資産合計	383,447	374,021

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,795	38,141
短期借入金	3,082	1,922
1年内返済予定の長期借入金	16,106	9,910
リース債務	870	1,109
未払法人税等	2,896	1,305
賞与引当金	3,175	1,136
株式給付引当金	—	114
修繕引当金	5,159	4,086
解体撤去引当金	439	689
製品保証引当金	84	46
環境対策引当金	—	13
損害賠償損失引当金	84	168
その他	20,545	19,033
流動負債合計	95,241	77,680
固定負債		
長期借入金	94,255	84,696
リース債務	2,028	2,711
繰延税金負債	204	92
役員退職慰労引当金	239	205
株式給付引当金	86	—
修繕引当金	944	1,617
解体撤去引当金	529	1,264
製品補償損失引当金	158	132
環境対策引当金	196	145
退職給付に係る負債	2,277	1,853
資産除去債務	6	56
その他	6,848	6,704
固定負債合計	107,775	99,480
負債合計	203,017	177,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	20,018	20,072
利益剰余金	137,665	152,116
自己株式	△1,809	△1,804
株主資本合計	165,874	180,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332	2,255
繰延ヘッジ損益	△35	△20
為替換算調整勘定	703	991
退職給付に係る調整累計額	1,986	2,019
その他の包括利益累計額合計	2,986	5,246
非支配株主持分	11,568	11,229
純資産合計	180,429	196,860
負債純資産合計	383,447	374,021



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	236,543	220,923
売上原価	163,756	151,563
売上総利益	72,787	69,359
販売費及び一般管理費		
販売費	31,826	30,299
一般管理費	16,206	17,359
販売費及び一般管理費合計	48,032	47,659
営業利益	24,754	21,700
営業外収益		
受取利息	111	64
受取配当金	345	381
持分法による投資利益	674	735
業務受託料	578	592
設備売却収入	—	575
その他	1,622	1,515
営業外収益合計	3,332	3,865
営業外費用		
支払利息	1,279	1,161
業務受託費用	613	532
解体撤去引当金繰入額	572	466
設備売却原価	—	562
その他	1,840	1,660
営業外費用合計	4,306	4,384
経常利益	23,780	21,181
特別利益		
固定資産売却益	20	94
投資有価証券売却益	4	5
関係会社株式売却益	—	746
補助金収入	13	90
保険差益	84	191
特許権等譲渡益	—	1,477
関係会社清算益	—	197
段階取得に係る差益	—	125
その他	—	54
特別利益合計	122	2,983
特別損失		
固定資産売却損	16	—
減損損失	—	825
災害による損失	77	101
固定資産圧縮損	1	—
固定資産処分損	414	488
投資有価証券売却損	1	—
解体撤去引当金繰入額	—	858
その他	—	215
特別損失合計	511	2,489
税金等調整前四半期純利益	23,390	21,675
法人税等	4,708	1,952
四半期純利益	18,682	19,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	670	404
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,011	19,318

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	18,682	19,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	566	1,928
繰延ヘッジ損益	24	15
為替換算調整勘定	△429	387
退職給付に係る調整額	△212	9
持分法適用会社に対する持分相当額	△205	△73
その他の包括利益合計	△255	2,268
四半期包括利益	18,426	21,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,753	21,578
非支配株主に係る四半期包括利益	673	413

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社であった天津徳山塑料有限公司は、2020年7月17日に清算終了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

特定子会社であった株式会社トクヤマロジスティクスは、2020年10月1日に当社連結子会社である徳山海陸運送株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティー				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	70,399	30,044	65,958	40,984	29,156	236,543	—	236,543
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	766	8,408	459	1,357	20,010	31,001	△31,001	—
計	71,165	38,452	66,418	42,341	49,167	267,545	△31,001	236,543
セグメント利益	11,785	4,474	2,629	2,324	4,867	26,081	△1,326	24,754

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティー				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	60,424	32,354	67,833	33,010	27,301	220,923	—	220,923
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	609	8,696	474	1,083	13,238	24,102	△24,102	—
計	61,033	41,051	68,307	34,093	40,539	245,025	△24,102	220,923
セグメント利益	9,387	4,550	3,880	1,550	4,590	23,958	△2,258	21,700

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。